あおい通信 第138号

第138号 平成28年11月1日
リハビリテーション
デイサービス葵・編集委員会
練馬区東大泉3－17－5
カトウビル3F
電話 03－3978－0919

日本の世界遺産めぐり
その十九 明治の産業遺産⑩ （文化遺産）

★橋野鉄鉱山・高炉跡

那珂湊にあった水戸藩の反射炉に大砲用の銑鉄を供給するため南部藩によって建設された。

岩手県釜石市橋野町に所在する高炉跡現存する日本最古の洋式高炉跡で幕末から明治にかけての日本の近代製鉄業を支え、国の発展に貢献した遺跡である。幕末から明治期にかけて日本の産業化の先駆けとなった重工業分野（製鉄・製鋼、造船、石炭産業）における産業遺産群「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の構成資産として、世界遺産に登録された。遺跡周辺は、鉄鉱石採掘場と運搬路、製鉄の要の高炉、水車を利用した送風装置であるフイゴ場など、製鉄の工程を復元できる。また、高炉操業に欠かせない木炭は、周辺地域の森林から製造され、高炉を構成する石組みも周辺の花崗岩を利用しており、この地の恵みを活用し製鉄が行われていたことがわかる。

★三重津海軍所（みえつかいぐんしょ）は佐賀県佐賀市川副町大字早津江字元海軍所に所在し、佐賀藩が一八五八年（安政五年）に設立した蒸気船等の船の修理・造船施設。西洋船運用の為の教育・訓練機関も兼ね備えていた。実用的な国産初の蒸気船である「凌風丸」を製造した。

平成二七年に「明治日本の産業革命遺産」として世界文化遺産に登録された。

三重津海軍所跡（発掘調査時）

三重津海軍所跡は発掘調査や文献調査の成果から明らかになった運用方法から「船屋地区」「稽古場地区」「修覆場地区」の三地区に分かれることが調査報告書に記載されている。「船屋地区」は、三重津が佐賀藩洋式艦隊運用根拠地となる以前から使用されていた藩の和船運用施設の一つであった。蒸気船建造計画（安政二年）の際にはこの地区に細工場や材木置場等を建設する予定であったことが当時の絵図から推定されている。但し、この計画はこの時は実行に移されなかった。「稽古場地区」は銃等を用いた調練施設。「修覆場地区」は洋式船の金属部品制作加工を行った「製作場」とドライドックのあった「御修覆場」から構成される。

世評・時評

もう十一月。今年も残り少ない。未だ総括するには早すぎるが平年と違うことが多い。

まず気候や天気が異常。所により集中豪雨が続き、所により水不足。台風がスーパー化して、世界各地に甚大な損害を与えた。●四月の観測史上初の二回の震度7の地震と六月の一ヶ月近い集中豪雨。十月には阿蘇の中岳の噴火もあって、今年の熊本の人々は本当に大変だった。●五月、現役米大統領の初めての広島訪問。●舛添元東京都知事の不適切な政活費使用の発覚と、それに続く辞任。●七月、新都知事選で初の女性知事誕生。●八月には初の南米大陸でのリオ・オリンピック開催。太陽を象った聖火台が印象的だった。その閉会式で、新都知事が、和服の袂を帯に挟んで受け取ったオリンピック旗を振ったのも初？●豊洲の東京新市場の建物地下のコンクリートの箱！前代未聞の大騒動。●三兆円と異常に膨らむ可能性の東京オリンピックの費用。新知事には早急な解決が迫られる問題が山積みだ。●そして、ご高齢の天皇陛下が生前退位をほのめかされた。同じ世代の我々には、陛下のお気持ちが痛いほど分る。●九月、また新しいゲーム、ポケモンGO！の登場で、世界中が大騒ぎ。●十月、都議会が豹変し、新知事と共闘姿勢。世の中、変わるもんだナー。●シンガーソング・ライターのボブ・ディランの書いた詩がノーベル文学賞を受賞。これもこの分野では初。●中国が有人衛星を打上げ、成功したというが無事に帰還して初めて、成功だろう。●二十一日午後二時七分頃、鳥取中部を震源とする震度6弱（M6・6）の地震が発生、多大な被害が出た。この地域は過去の統計上では想定外の場所というが、熊本に続き日本は地震列島なので仕方ないが、同じ列島住人として、被災者の心情には他人事とは思えぬ気さえします。日頃の防災意識を再考しておきたいものです。●そして十一月、いよいよアメリカの大統領選挙。候補はお互いに対抗馬を攻撃、誹謗し合い、一向に政策が見えなかった。五月には英国の国民投票で、EU離脱が選択されたし、世界はどう変わっていくのだろう。

（やぶにらみ）

雑記帳
詩吟「静御前」
額賀美保

詩吟を始めたのは六十才からですが、私は直ぐ夢中になりました。

そして三十年も続けて参りました。数え切れない程の沢山の思い出が有りますが、詩吟の合吟コンクールで二度優勝をしました。準優勝も一度しました。他所の会でも優勝させて戴きました。私の詩吟人生は充実しておりました。其の中で私は詩舞も習いました。詩舞とは詩吟に合わせて舞う踊りの事です。詩吟の漢詩の中、私が一番好きな詩は「静御前」ですが、有る時、練馬区の踊りコンクールに薦められて初めて出して戴きました。まさか賞に入るなんて思っても見ませんでしたのに、三位の銅メダルを戴き、教えて下さった詩吟の先生にも大変喜んでいただきました。それは唯一回の経験でしたが、詩吟部の友らに吟じて貰い五人で舞いました。その中で「静御前」を私が一人で舞いました。

（しずやしずしずのおだまき 繰り返し 昔を今になすよしもがな）です。

◆編集委員会より
「あおい通信」は、皆様からの原稿を募集しています。係員・飯島まで

葵友の会 広報コーナー

10月の報告

19日（水）麻雀大会。「ベイブ」にて。2卓での開催でした。優勝は絹田治夫さんでした。

11月の予定

21日（金）カラオケ、「バンバン」にて。8名の参加でした。

11月の予定 熱海の1泊旅行。参加をお待ちしています。

（事務局長）

利用者さんの紹介コーナー

末　富夫（火、木）

絵を見るのが好きで、博物館、美術館によく行きました。やっと葵に慣れてきました。皆さんよろしくお願いいたします。

上野　富士子（月）

人との交流と、少しの運動の目的で通所を始めました。お友達もできて楽しくやっています。コーラス、お花の教室は今も続けています。

高瀬　キヨ子（土）

編み物が好きで、ずっと習っていたのです。新しい方達と知り合いになり、うれしく思っています。手芸、脳トレを頑張ってやっていきます。

卒寿男のたわごと　終篇

大内田日出人

（137号のつづき）

さて「貴方のこれまでの人生で、一番楽しかったのは何時ですか」と問われたら、終戦をはさんで過ごした、旧制高校の三年間である、と答えるだろう。弊衣破帽、マント、高下駄がシンボルの白線帽の青春である。当時九州には、福岡高、佐賀高、五高、七高の四校があった。私は佐賀高校で理科甲類だった。旧制高校の特徴は、同窓生の強い強い結束と、多彩な人脈である。それぞれ国立大学に進学したので、医者、弁護士、大学教授、銀行頭取、大会社の社長、役員、県知事、等々多彩な仲間であった。然し今は殆んどが故人である。

有明海の潮干狩りでストームをやったり、全國寮歌祭で踊った事等、今では遠い思い出。本当に楽しい三年であった。その同窓会も世話する人がなく消滅した。卒寿男のたわごとはこれ位にして、今年作った俳句を幾つか書いてみたい。

★卒寿吾れ
　まだ元気だと　初謡

★師が逝けり
　約せし花見　果たさずに

★つくつくし　季節（とき）
　告げる如　高く鳴く

★夕焼ける　赤富士やがて　黒富士に

★語り部の　心打つ秘話
　原爆忌

★白鷺の　城背景に
　菊花展

★キスゲ咲く
　尾瀬湿原に　かかる虹

足が悪いので、吟行に行けず、テレビの映像詠みが多い。

なんでも落語講座　五　続篇

絹田治夫

火事が近づいたら土戸を閉めて丁寧に目塗りをするのである。

落語「火事息子」の父親の営む質屋の近所が火事になったとき、息子が手際よく目塗りできたのは、火消が日ごろからそういう活動をしているからである。それでも火事が起こったら、大店は営業ができなくなる。そこで、川向こうの深川に蔵屋敷を持ったり、材木を備蓄しておく。店が焼けてしまったら、すぐに人材を集めて七日ほどで仮店舗を建てて開業し、店を再建している間も営業を続けた。江戸っ子は、したたかでなければ生きていけない。ちなみに、江戸で外食産業が発達したのは、火事跡に屋台が立ったからである。火事が生活文化も生み出したのだ。火事で財産を失ってしまうという体験は、意外なことに、江戸っ子に計画性と組織性をもたらした。防火グッズや再建に必要なものを備蓄しておくこと、なにより、再建に手を貸してくれる人間関係を大切にするようになった。火事や地震は地域の人々のつながりがあってはじめて、乗り越えられるのである。

宵越しの金を持たないのは火事が多いからだ、ともいわれる。確かに、計画性があっても結果はどうなるかわからい。

（昭和の名人決定版より一部抜粋。）

ふわふわ亭、わび助

バルトの楽園

松原謙次

JR鳴門駅前から大麻線バスで三十分揺られると、四国霊場一番札所霊山寺に着きます。このお寺は、天平年間に僧行基が開山したといわれ、その後、弘法大師が四国八十八ヶ所をつくった時、四国第一番の霊場として寺名を霊山寺（りょうぜんじ）と名付けました。一年中菅笠をかぶったお遍路さんで賑わいます。

さて、ここ霊山寺の裏手から歩いて十五分のドイツ館へ向かいます。途中には阿波一宮大麻比古神社があります。このお宮は県下一格式のある神社で、大麻比古命と猿田彦命が祀られてます。約1㎞にわたる参道には楠並木と石灯籠がつづいています。大麻比古神社の鳥居の前を過ぎて少しでドイツ館です。ここは第一次大戦で俘虜となったドイツ兵と、地域の人々との交流を後世に伝える為に建てられました。

鳴門市のドイツ館

ドイツ館では俘虜の遺品や写真、等身大のロボットを通して、坂東俘虜収容所でのドイツ兵達の生活を知ることができます。

このドイツ兵は第一次大戦時に中国青島で俘虜になった約五千人の内の、約千人です。一九一七年（大正六年）四月から、約二年十ヶ月をこの地で過ごしました。坂東俘虜収容所長の松江豊寿氏の人道的管理方針の下、所内では音楽や演劇、スポーツなど様々な活動が行われ、地域の人々も俘虜達の進んだ技術や文化を取り入れようと、牧畜・製菓・西洋野菜栽培・建築・音楽・スポーツ等の指導を受けました。そしてその坂東の町では俘虜達を「ドイツさん」と呼び、彼らとの間では日常的な交歓風景が当たり前のように見られるようになりました。俘虜達を、人として尊重する心と、お接待の心は、この俘虜収容所を舞台とした映画「バトルの楽園（二〇〇六年）」の中で、松平健の演ずる松江所長を主役に感動的に描かれておりました。

二階の資料展示室では、ドイツ兵がどうしてこの坂東に来ることになったのかなどが、収容所の模型や写真でわかりやすく説明されています。第九シアターでは、ベートーベンの第九交響曲が一九一八年六月一日、日本で初めてこの坂東で全曲演奏され、ドイツ兵ヘルマン・ハイゼン指揮のトクシマオーケストラによる演奏の様子が等身大のロボットによって三十分毎に再現されています。その時のプログラムも展示されています。（つづく）

キッチン　夏野菜なのに冬瓜

川俣孝子

冬迄もつ位の保存がきくという謂われで、「冬瓜」という名がついたそうです。味は淡泊で、透き通るようで涼しげです。水分が多く、低カロリーです。皮を厚くむいて干し、えびと薄味で煮て、とろみをつけて頂くと夏バテの体にしみて来るようです。温めても冷たくても美味しく頂けます。おみそ汁に入れても美味しいですよ。

蒲公英会・俳句③

星祭り　縁なき年に　なりにけり　関
梅雨明けや　喘ぎて冷具　出す日中　鳥越
機銃掃射　吾伏せりけり　草いきれ　相川
蝸牛　汝フランスでは　エスカルゴ　富寿郎
草引くや　三時のおやつは　甘納豆　大野
夏水仙　友よりの苗　咲き初めぬ　松本
茎長き　アバカンサスや　梅雨の空　和田
一滴の　白磁に響く　新茶かな　柳生
木耳や　想ひ出にある　秘密基地　岸野
風鈴や　あと十年は　聴きたいな　酒井
友訪えど　留守なり庭の　チューリップ　佐藤
山形の　友の便りや　紅の花　穂刈
満開の　四葩（よひら）　無残や　雨なくて　金子
「中国」
白百合の　群生香る　甲斐路かな　河角

あおい俳壇・歌壇

名月を　眺めて想う　若き日の事　相田美代子